

僕は君の事が好きなんです

この気持ちに嘘はないよ

だって 嘘をついたら 何の利益もないし 意味がない

本当だよ...?

この町には 君よりもいい子はいるよ

でもね それでも僕は君を選んだんだ

なんでか分かるかい...?

君の優しさに僕はひかれた

いつも憎まれ口ばかりたたいているけれど

でも本当は優しい人なんだね

君のことをもっと知って

君ともっと仲良くなって

手を繋いで

歩いて

そして...

こんなことを書いたけれど 僕は恥ずかしくないよ

でも 君に見られるのは ちょっと恥ずかしいなあ...